

2016年度 次世代ワイヤレス通信技術講座 第6講

講座長：山本平一先生（奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授）

最新ワイヤレス通信技術を学ぶ！

対象者 研究・開発技術者から管理者・経営者まで
講師陣 山本講座長の企画による最先端でご活躍の講師陣
低価格 公益活動であるメリットを活かしたリーズナブルな受講料
分かり易さ じっくり基礎技術から最先端技術・動向まで
幅の広さ 年間受講により最先端技術や事業動向の把握が可能

受講料

会 員：12,000 円

非会員：15,000 円

日時 2017年 3月 17日（金） 13:30 ~ 17:00

会場 ハービス PLAZA 5F 会議室（大阪市北区梅田 2丁目 5番 25号）

プログラム

事情により講演者・講演内容・開催日・場所が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

高度道路交通システムの動向

宇都宮大学大学院 准教授 **藤井 雅弘 氏**

13:30
~
15:10

本講演では高度道路交通システムの研究動向について講演いたします。運輸・交通システムの現状と取り巻く課題と、それに関する無線通信技術動向について説明します。まず、ETCで利用されているDSRCの概要について説明し、また、今後広く運用が期待されている車車間通信システムの動向について説明します。更に、それらのシステムの新しいアプリケーションや、幾つかの研究事例を紹介し、次世代交通社会における無線通信の役割について論じます。

15:10 ~ 15:20 休憩（10分）

航空機監視システムと Radio over Fiber を利用した高度化

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 主任研究員 **角張 泰之氏**

15:20
~
17:00

航空管制のための航空機監視システムとしてはレーダ装置が主流であるが、データの更新頻度がアンテナの回転周期に依存するなど、近年の高密度運航には必ずしも性能要件を満たせない場合がある。双曲線測位原理を用いたマルチラレーションはレーダ装置よりも高性能を謳う新しい監視システムであるが、光ファイバ無線（Radio over Fiber）を応用することで、更に高い性能を実現できる。本講演では、実際の開発・評価の紹介を交えつつ、航空管制と航空機監視の概要、マルチラレーションの原理などを解説する。

申込要領

申込方法

下記ウェブサイトからお申し込みください。
申込後、受付完了メール（自動返信）をお送りいたします。
お申込み内容をご確認ください。

ウェブサイト

<http://www.kec.jp/seminar/jisedai16/>

送金方法

請求書をご送付いたします。記載の指定銀行にお振込みください。

ご注意

受講票等は発行しておりません。資料は当日配付いたします。
請求書発送後のキャンセルは原則としていたしかねます。
欠席の場合は代理出席を受け付けております。

お問い合わせ先

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
専門委員会推進部 事務局 柴田 賢一
TEL: 0774-29-9041 / E-mail: publication01@cec.jp

会場案内図



最寄り駅（徒歩）

阪神梅田駅(西改札)	約 5分
JR 大阪駅(桜橋口)	約 7分
JR 東西線北新地駅(西改札)	約 10分
地下鉄四つ橋線西梅田駅(北改札)	約 5分